

東京大学千葉演習林間伐推進プロジェクト ～東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト～

東京大学演習林の始まりは、日本初の大学演習林として1894(明治27)年に房総半島に設置された千葉演習林であり、以来、東京大学の林学教育の場として現在に至る歴史を刻んでいます。
千葉演習林全体の40%を占める人工林は、我が国における人工林研究・教育の代表的なフィールドとなっています。

プロジェクトの実施場所	千葉県鴨川市
削減量・吸収量(予測)	年間 358 t-CO2
在庫量	現在のところ販売の予定は ございません。
クレジットの次回発行予定	
1t-CO2あたりの希望単価	



千葉演習林

創設年 1894(明治27)年
面積 2,226(ha)
標高 50-370(m)

創出される
CO2クレジット



千葉演習林

区画測量、標準値調査
クレジットの算定
申請書・報告書の作成



低炭素キャンパスの実現
TSCP2012に活用

他の国立大学やJ-VER制度の
普及・拡大に貢献

この千葉演習林において、先導的に間伐促進型プロジェクトを進めることで、同様の演習林を保有する国立大学への波及効果を含め、J-VER制度全般の普及・拡大に繋がりたいと考えています。
また、このプロジェクトにおいて創出されるクレジットは、平成20年4月より全学的に取り組みを進めているプロジェクト(TSCP)において最優先課題としている低炭素キャンパスの実現(CO2排出総量削減の自主目標～TSCP2012)に活用することを考えています。

■担当者連絡先

(迫田一昭 03-5841-0500 sakoda.kazuaki@mail.u-tokyo.ac.jp)